

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月28日(水)

オーウエル株式会社

証券コード:7670

目次

1. 会社概要	2
2. 2025年3月期 決算概要	5
3. 中期経営計画 M/P 24-26 の進捗	14
4. 2026年3月期 連結業績予想と配当	27
Appendix	31

1. 会社概要

会社概要

1943年、大阪で3社の塗料販売店が合併して「近江屋興業株式会社」として設立

商号	オーウエル株式会社 / O-WELL CORPORATION
設立	1943年11月
所在地	■ 本社：大阪市西淀川区御幣島5-13-9 ■ 東京店：東京都品川区北品川3-6-17
資本金	8億5,786万円
代表者	代表取締役社長 川戸 康晴
事業セグメント	■ コーティング関連事業 ■ エレクトロニクス関連事業
従業員数	連結：619名（2025年3月末現在） [平均臨時雇用人員：109名]
関係会社	■ 連結子会社：17社 ■ 持分法適用関連会社：4社

拠点

国内

45拠点※



海外

13拠点※



グループ会社

サンマルコ株式会社	塗装工事、防水工事、ガラス工事、内装仕上工事等の請負及び設計・監理
オーウエルスーパービルド株式会社	塗装工事、土木工事、とび・土工工事等の請負及び設計・監理
オー・エー・シー株式会社	建設機械、産業用ロボット等の塗装請負
株式会社 オーウエルカラーセンター	塗料の調色請負・塗板見本の製作受託
大洋ケミカル株式会社	塗料の調色請負
ユニ電子株式会社	ソフトウェア・半導体・集積回路・電子部品・産業機器・化成品の販売・輸出入

※営業所、子会社、子会社の支店及び工場等の拠点を含む

中国	奥唯(大連)貿易有限公司、奥唯(深圳)科技貿易有限公司
韓国	O-WELL KOREA CORPORATION
インドネシア	PT. O WELL INDONESIA
タイ	O-WELL (THAILAND) CO., LTD.
ベトナム	O-WELL VIETNAM CO., LTD.
メキシコ	O-WELL MEXICO COATINGS & ELECTRONICS S.A. DE C.V
インド	O-WELL INDIA COATINGS & ELECTRONICS PRIVATE LIMITED
香港	UNI-ELECTRONICS (HONG KONG) LTD.

※奥唯(上海)貿易有限公司、UNI-ELECTRONICS PTE LTD. は清算手続中

2. 2025年3月期 決算概要

2025年3月期 連結業績

- ・売上高は前年実績を若干下回ったものの、営業利益以下は前年実績及び予想を上回る
- ・当期純利益は、営業利益の増加と投資有価証券の売却益により過去最高益となる

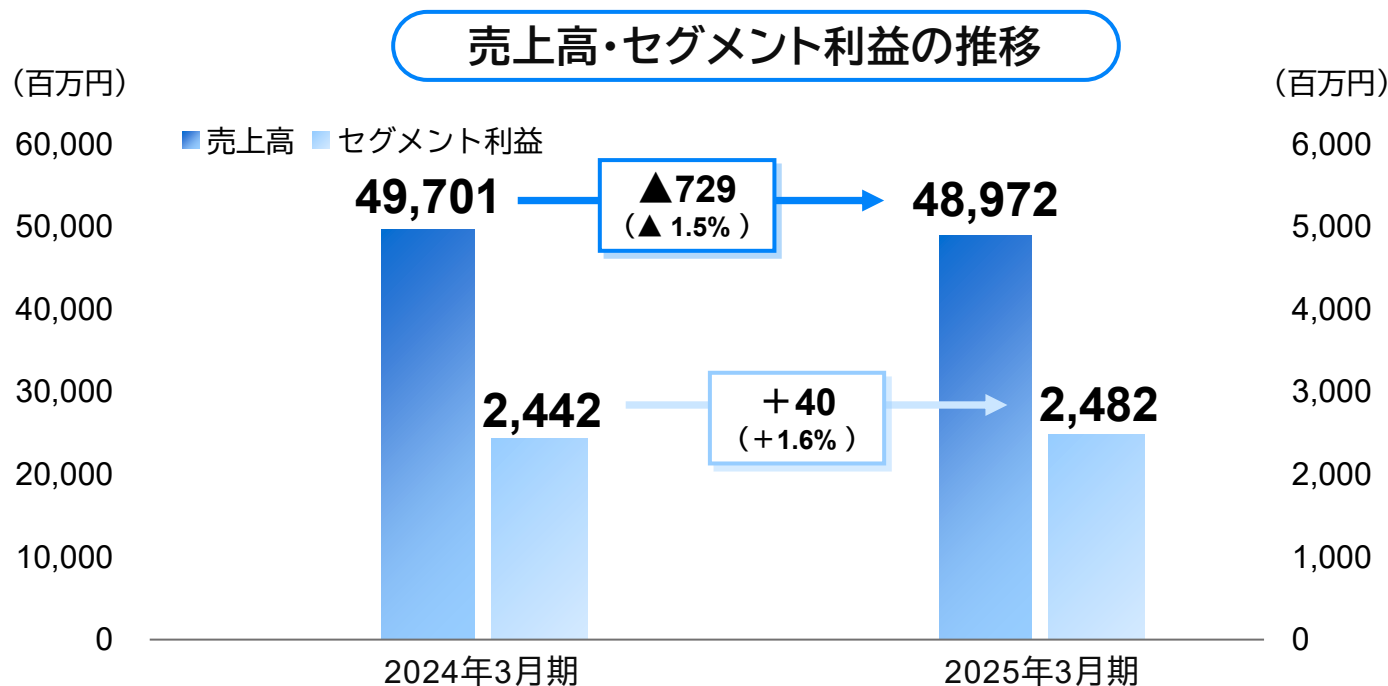
(百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	増減額 (増減率)	2025年3月期 予想	差額 (達成率)
売上高	71,049	69,416	▲1,633 (▲2.3%)	72,000	▲2,584 (96.4%)
営業利益	930	1,239	+309 (+33.2%)	1,150	+89 (107.7%)
経常利益	1,212	1,592	+380 (+31.4%)	1,350	+242 (117.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,526	1,779	+253 (+16.6%)	1,400	+379 (127.0%)
一株当たりの 当期純利益(円)	149.37	173.98	+24.61 (－)	136.98	+37.00 (－)

2025年3月期 セグメント別業績

コーティング関連事業

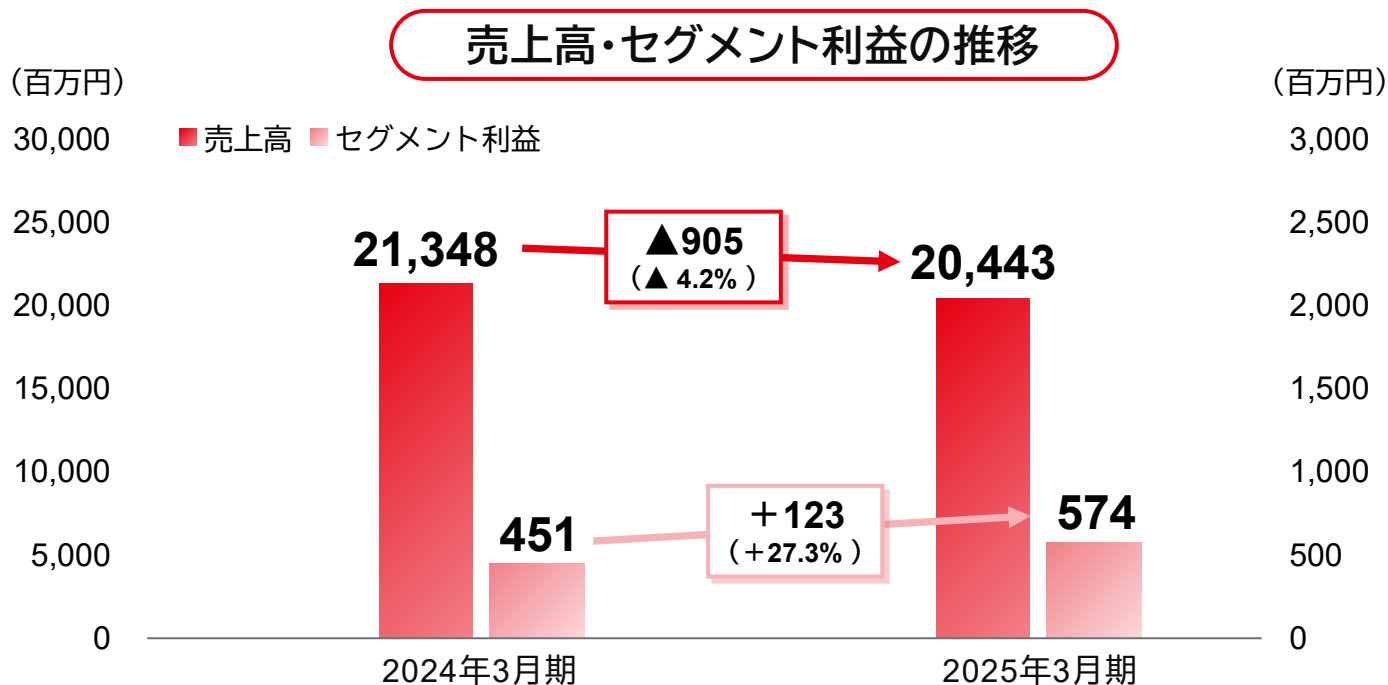
- 主たるお客様である自動車業界をはじめ、鉄鋼や建設機械等の産業においても生産は前期比で減少したが、塗装関連機器の拡販、販売製品のシェア拡大等を推進
- 完成工事高が減少したこと等により減収となるも、利益率の改善により増益



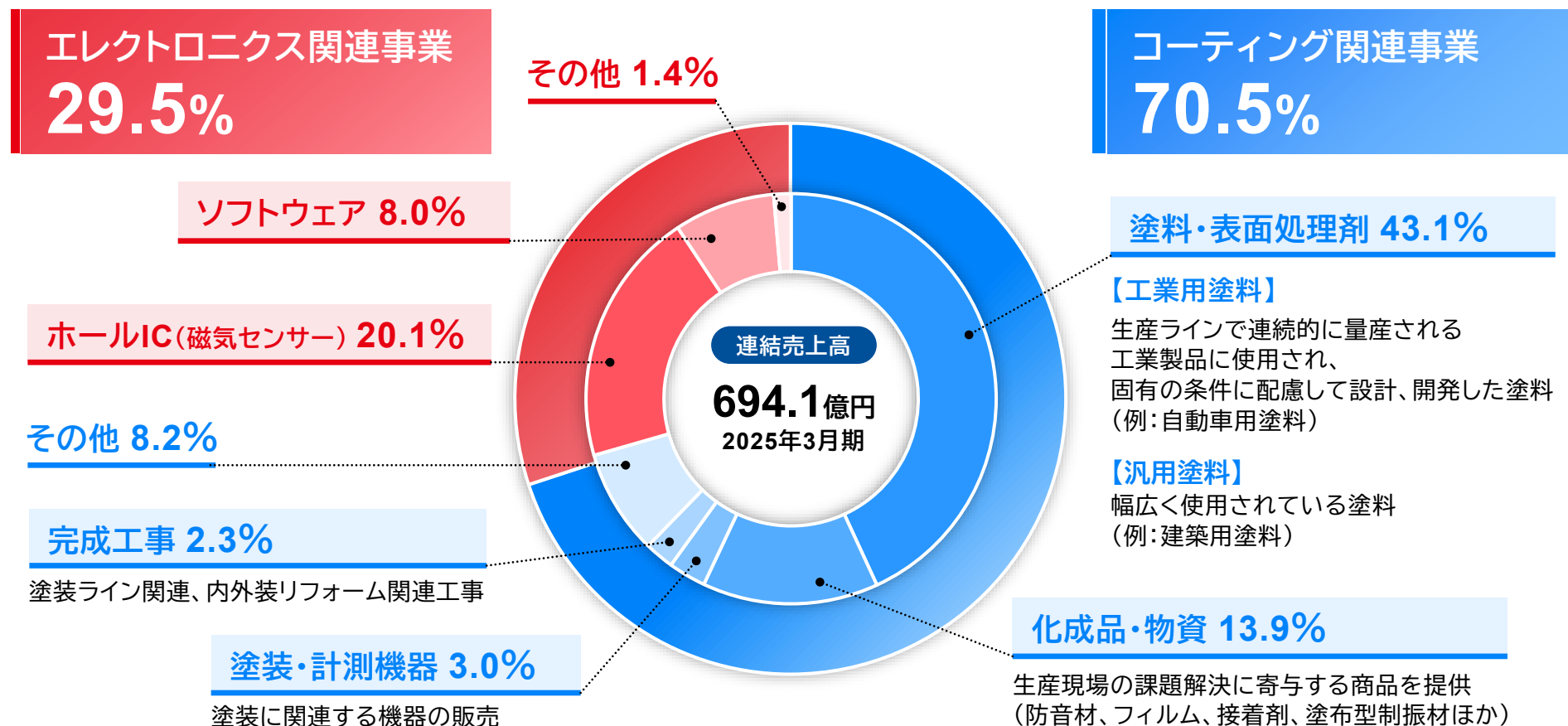
2025年3月期 セグメント別業績

エレクトロニクス関連事業

- ・主たるお客様である自動車業界における国内生産台数は、前期比で減少
- ・子会社であるユニ電子(株)において、前期に次世代カーナビゲーションソフトウェアの開発費を原価に計上したため、一時的に低下した利益が回復

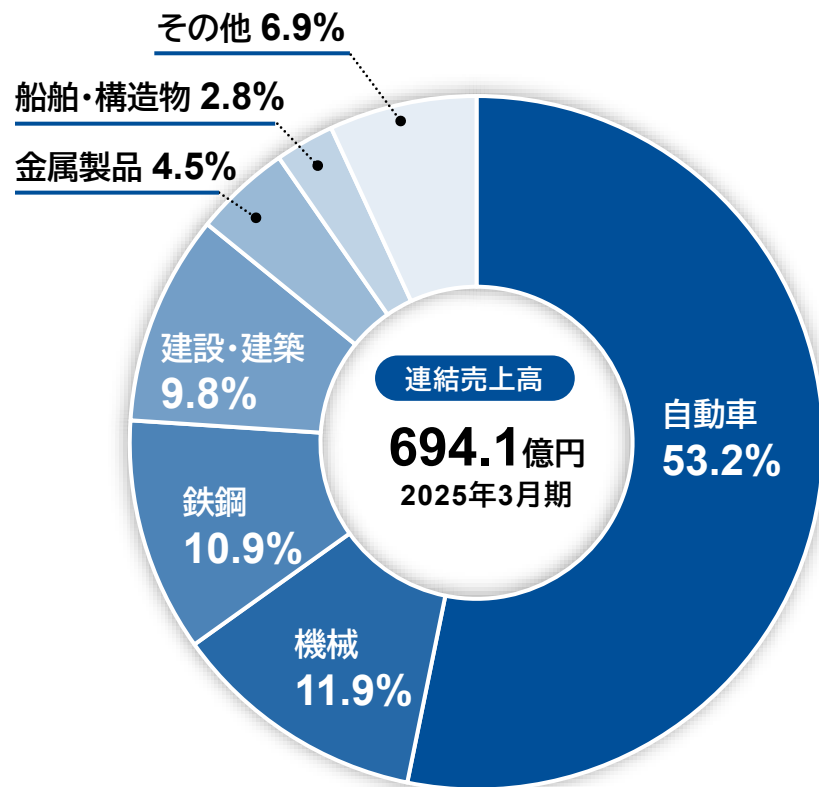


売上構成【事業・製品別】



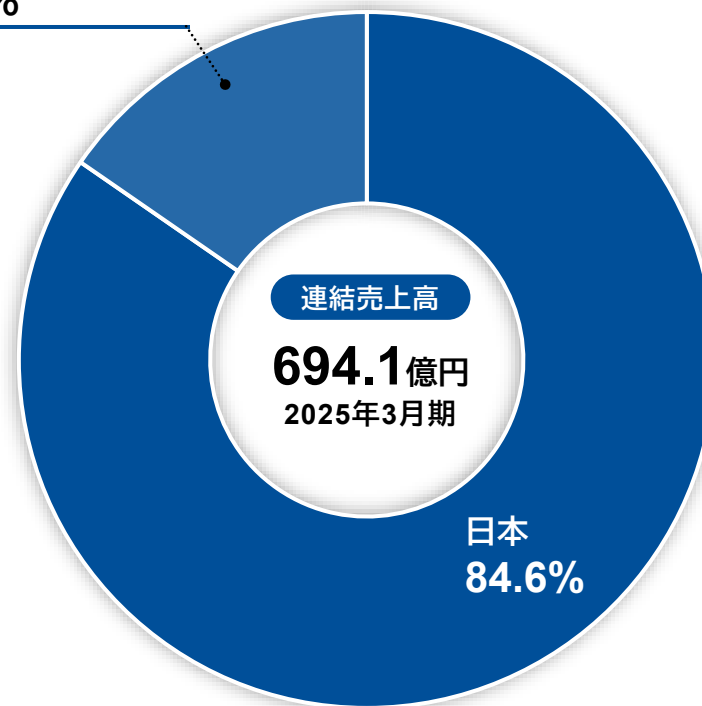
売上構成【業種別・地域別】

業種別



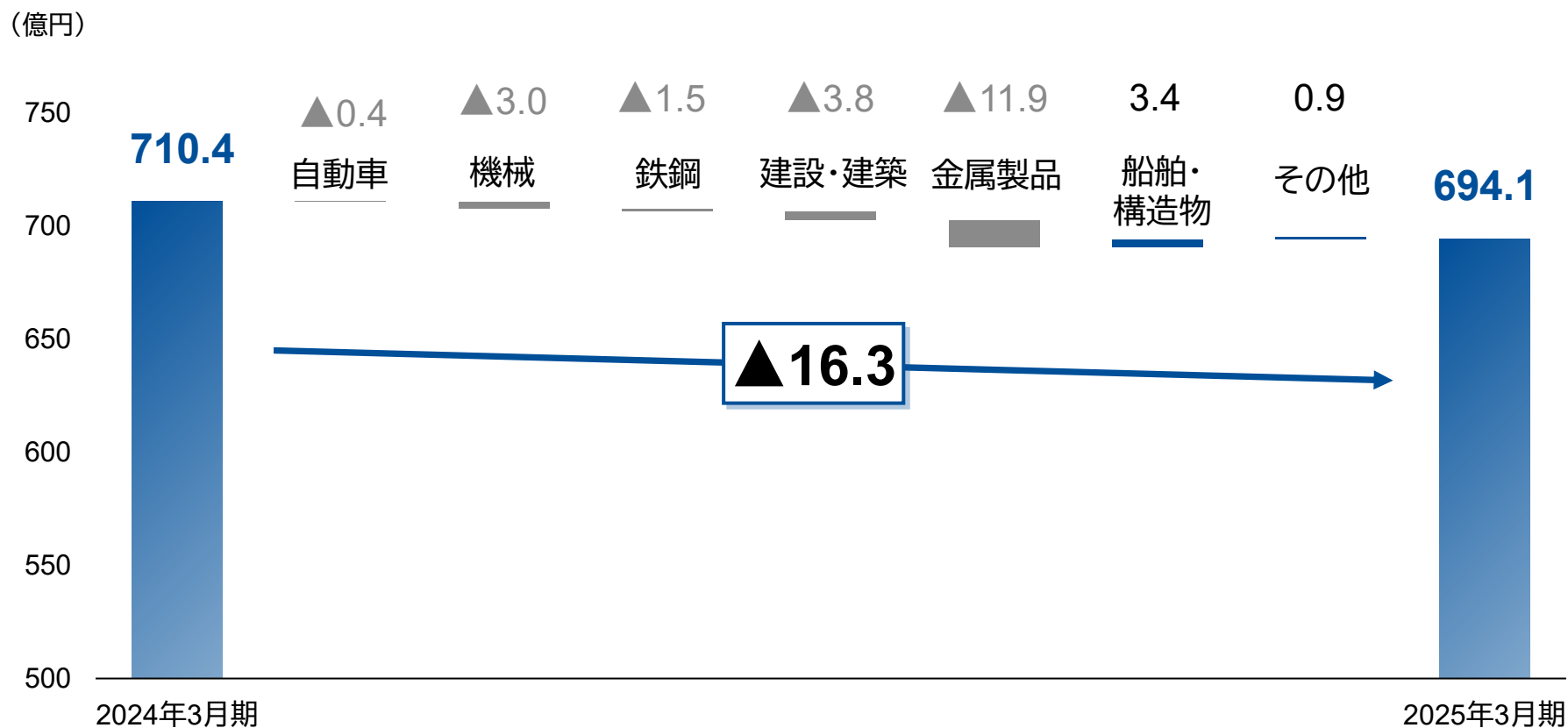
地域別

海外(アジア、北米・中米他)
15.4%



業種別売上高の増減(前期比)

大型設備の完工が減少



連結貸借対照表

(百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期末	増減額(増減率)
流動資産	31,530	29,945	▲1,585(▲5.0%)
固定資産	16,895	15,874	▲1,021(▲6.0%)
有形固定資産	3,650	3,628	▲22(▲0.6%)
無形固定資産	395	294	▲101(▲25.6%)
投資その他の資産	12,848	11,951	▲897(▲7.0%)
資産合計	48,425	45,820	▲2,605(▲5.4%)
流動負債	22,790	19,710	▲3,080(▲13.5%)
固定負債	4,631	4,569	▲62(▲1.3%)
負債合計	27,422	24,280	▲3,142(▲11.5%)
株主資本	14,448	15,617	+1,169(+8.1%)
その他の包括利益累計額	6,398	5,750	▲648(▲10.1%)
非支配株主持分	155	171	+16(+10.3%)
純資産合計	21,002	21,539	+537(+2.6%)
負債純資産合計	48,425	45,820	▲2,605(▲5.4%)
自己資本比率	43.1%	46.6%	+3.5pt

連結キャッシュ・フロー

- ・営業活動：大型設備完工に伴う前渡金の減少、
前期の投資有価証券売却(特別利益)に伴う法人税支払の増加
- ・投資活動：投資有価証券の売却により増加
- ・財務活動：子会社の借入金の圧縮、配当金の支払、自己株式の取得により減少

(百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,919	624	▲1,295
投資活動による キャッシュ・フロー	178	1,042	+ 864
財務活動による キャッシュ・フロー	▲121	▲1,572	▲1,451
現金及び現金同等物の 期末残高	6,393	6,545	+ 152

3. 中期経営計画 **M/P**24-26 の進捗

10年後の目指す姿

グローバルブランド



の樹立

ブランドを支える
「柱」

- ▶ 信用力の継続
- ▶ 塗膜形成力の発揮
- ▶ 事業創造への挑戦

柱をつなぐ
「梁」

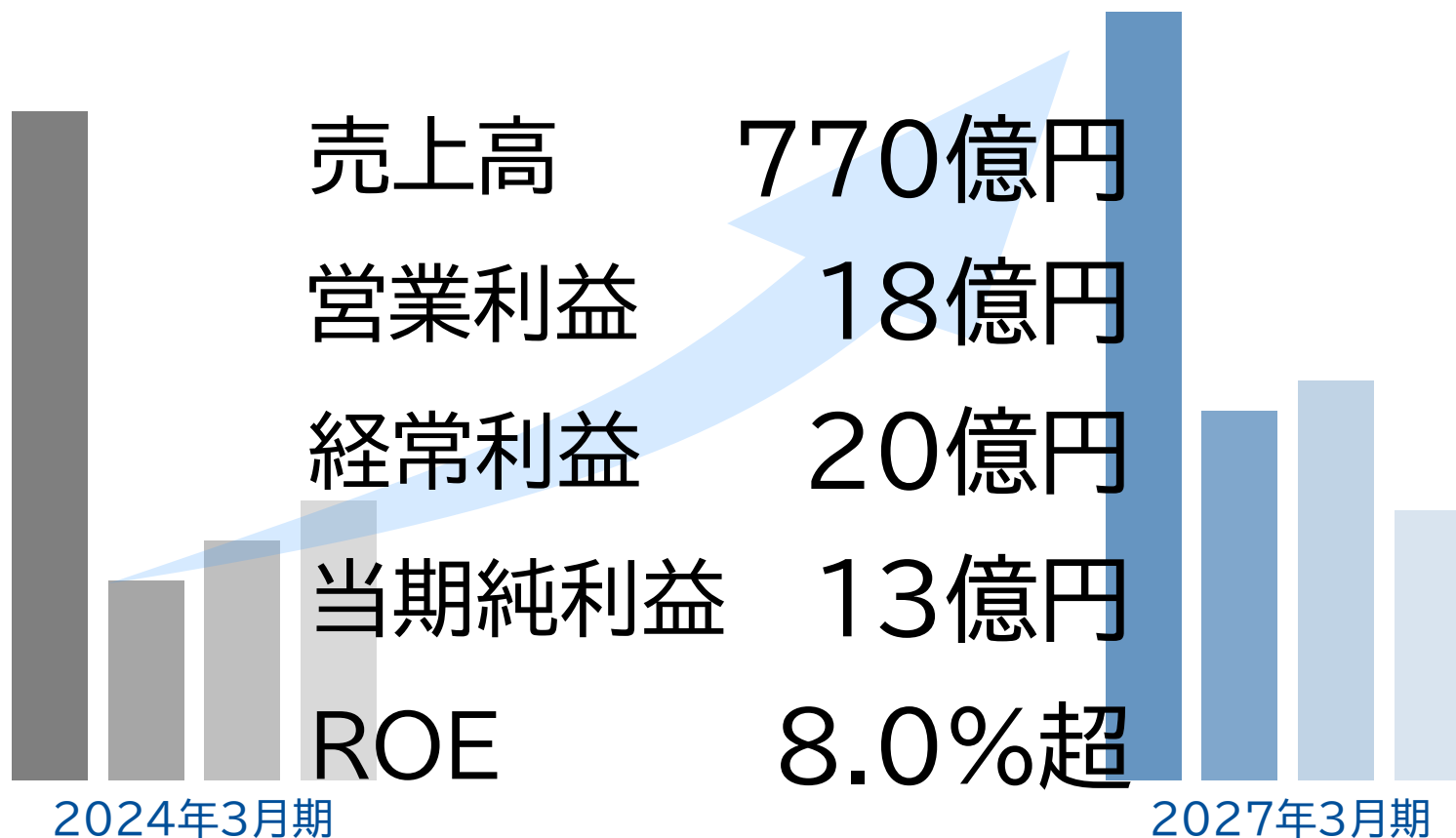
- ▶ DX
- ▶ SX
- ▶ 人的資本の充実

ものづくり現場の発展・進化をリードし、
持続可能な世界の創造・実現に貢献する

- ・ものづくり現場の「DX」と「グローバル化」
- ・「商材提供」型から、
「ワンストップソリューション提供」型へ



2027年3月期目標(連結)



中期重点方針・方策

コーティング関連事業

コーティングの未来を創る

- 方策① 塗膜形成力を磨く
- 方策② 新たなコーティングビジネスを企画する

エレクトロニクス関連事業

提供価値を拡大する

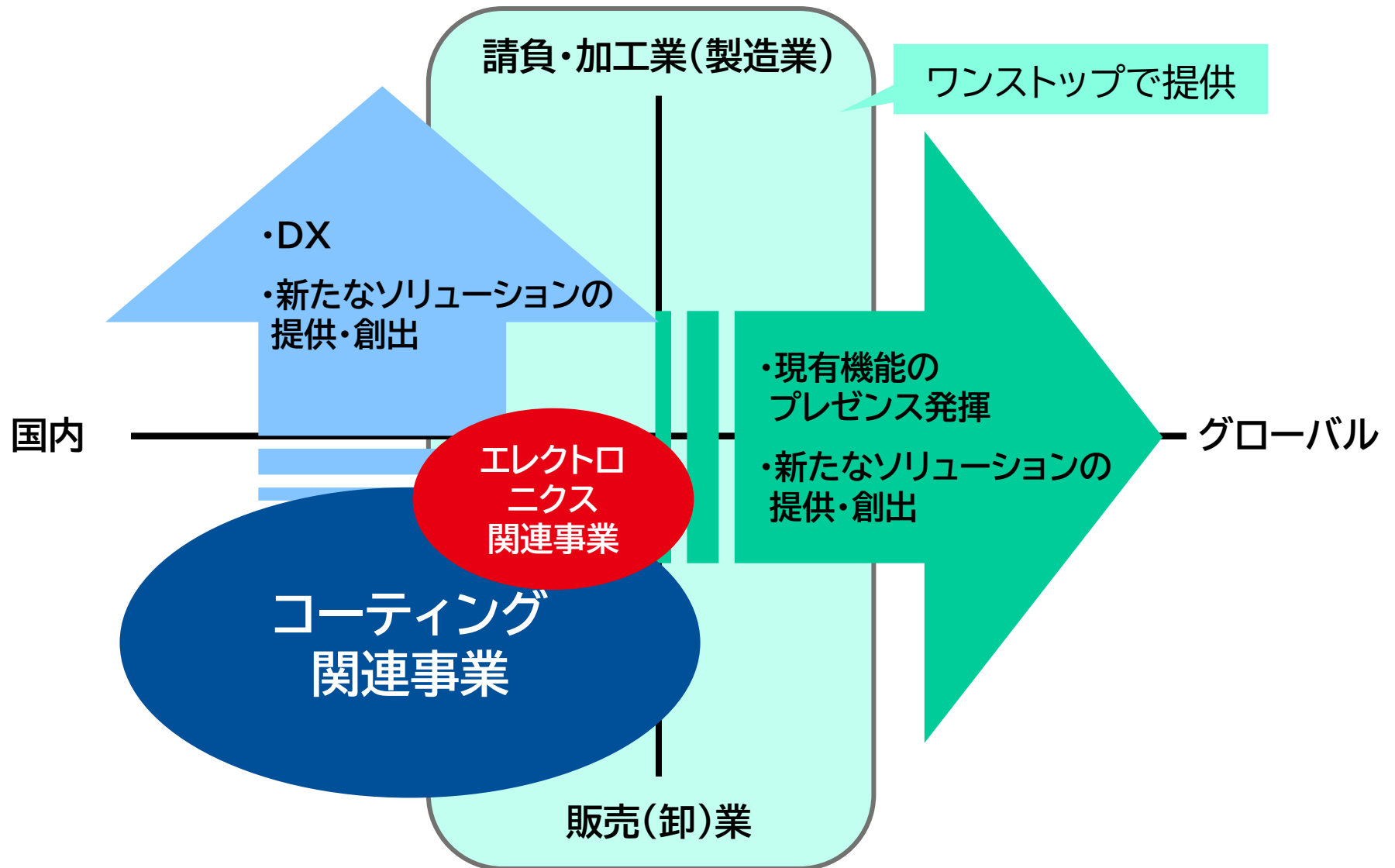
- 方策① センサービジネスを拡大する
- 方策② 新しい機能を付与する

経営基盤

資本効率を向上する

- 方策① 成長投資を実行する
- 方策② 人的資本を充実する

当社グループの事業領域



企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

《目標》 2027年3月期 ROE8.0%超

1

成長投資

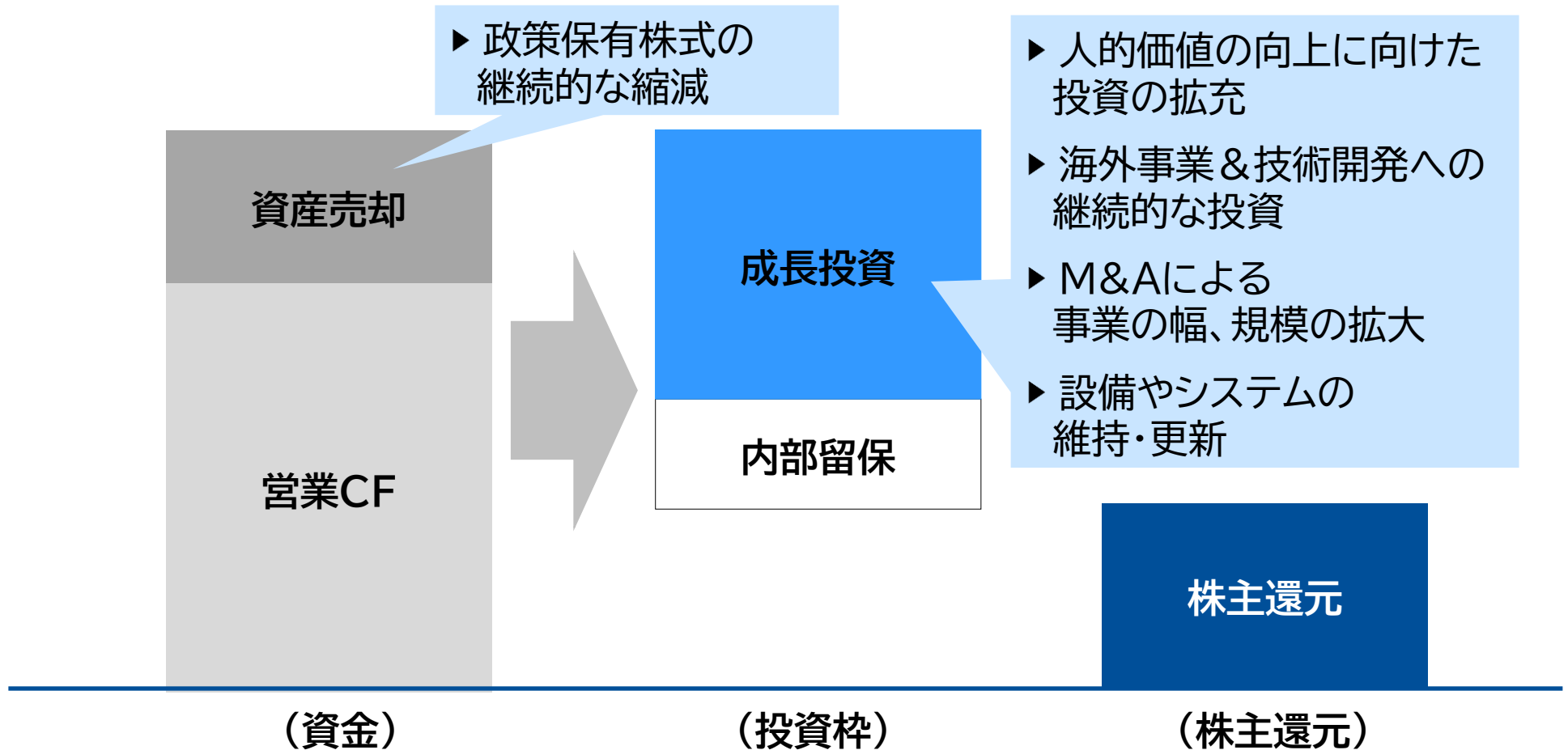
- ・人的価値の向上に向けた投資の拡充
- ・海外事業や技術開発への継続的な投資
- ・M&Aを含む成長事業への投資
- ・既存ビジネスの効率化～稼ぐ力の強化

2

財務戦略

- ・政策保有株式の継続的な縮減
- ・内部留保
- ・安定的かつ継続的な配当

成長投資、財務戦略の考え方



持続的な成長と企業価値の向上のため、
財務体質の強化と事業拡大のための内部留保を確保しつつ、
安定的かつ継続的な配当を実施していく

企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

1
成長
投資

人的価値の向上に向けた
投資の拡充

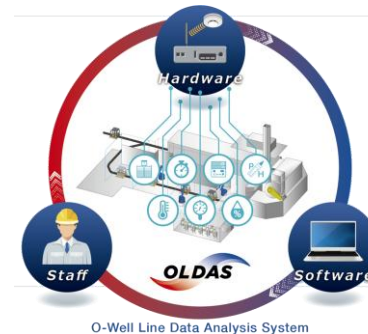


人事制度改革への取り組みを進行中

海外事業や技術開発への
継続的な投資



OLDAS、リブレット技術の開発への投資



リブレット施工作業風景

M&Aを含む成長事業への投資



企画実行のフェーズへ

既存ビジネスの効率化
～稼ぐ力の強化



効率的・効果的に全社のDXを推進するための
取り組みを推進中

企業価値の向上(PBR1.0倍超)に向けて

2 財 務 戦 略	政策保有株式の継続的な縮減	➡	継続的な縮減を実施 投資活動によるキャッシュ・フロー 投資有価証券の売却による収入 2024年3月期 1,200百万円 2025年3月期 1,276百万円
	内部留保	➡	財務体質の強化と事業拡大のための 内部留保の確保
	安定的かつ継続的な配当	➡	「配当」ページにて

内外環境の変化 【外部環境の変化】

1

経済環境

米国新政権の政治経済政策の影響等により、ますます不透明
一方で、グローバルサプライチェーンマネジメントの確立、
環境負荷低減～CNの実現に向けた取組も継続的に必要

2

DX～AI 産業の興隆

デジタル技術の社会への浸透・実装は加速度的に進行
生成AI産業もビジネスシーンにインパクトを与える

3

人財獲得競争

企業の人材の流動化が進むと共に、人財獲得競争は
熾烈化の一途

内外環境の変化 【内部環境の変化】

1

中期経営計画MAP24-26の進捗

決算短信に記載の通り

2

組織体制

国内拠点については、2024年度組織を踏襲

海外拠点については、奥唯(上海)貿易有限公司、
UNI-ELECTRONICS PTE LTD. を清算手続中

対処すべき課題

1

コーティング関連事業
「塗膜形成力をマネタイズする」

2

エレクトロニクス関連事業
「考動の解像度を上げる」

3

グローバルビジネスの創出に向けた、
マーケティング（需要創造）活動の強化

4

投資計画の充実と実行

5

人的資本経営の実現に向けた、
新しい人事制度の策定

4. 2026年3月期 連結業績予想と配当

2026年3月期 連結業績予想

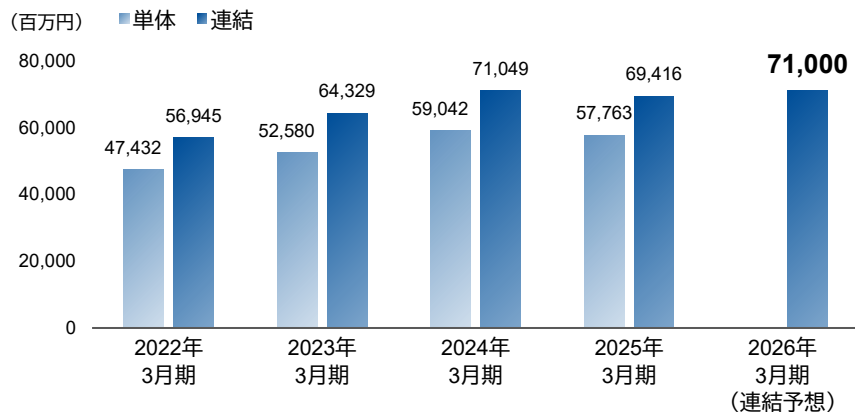
- ・主たるお客様である自動車業界の国内生産台数は前期並みを見込む
- ・投資有価証券の売却による特別利益は織り込まず
- ・大型設備案件の完工、航空宇宙産業向け取引拡大、マイクロコントローラテクノロジーの採用拡大等

(百万円)

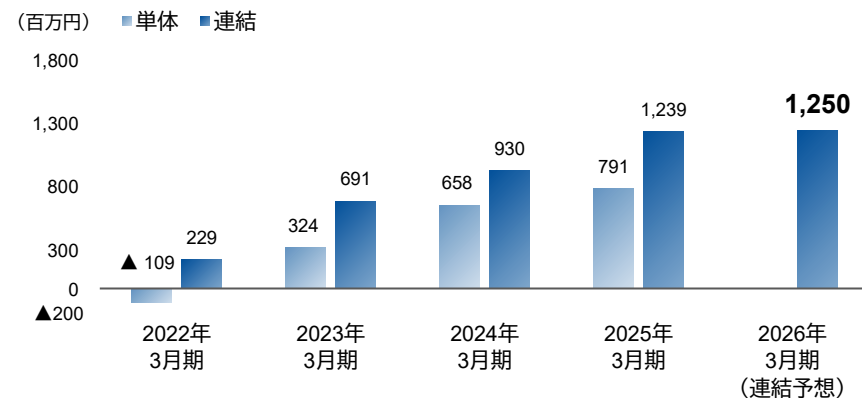
	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額 (増減率)
売上高	69,416	71,000	+ 1,584 (+ 2.3%)
営業利益	1,239	1,250	+ 11 (+ 0.9%)
経常利益	1,592	1,500	▲92 (▲5.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,779	1,000	▲779 (▲43.8%)
一株当たりの 当期純利益(円)	173.98	97.75	▲76.23 (－)

業績推移

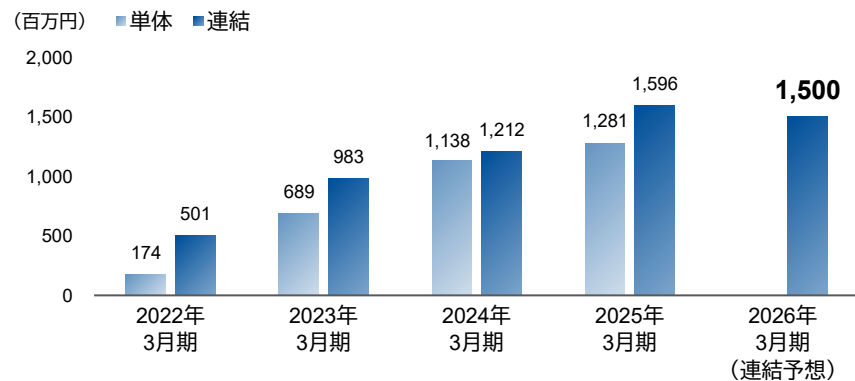
売上高



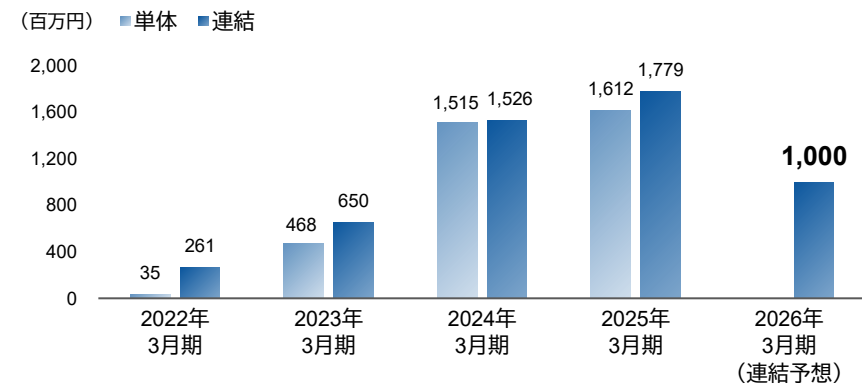
営業利益



経常利益

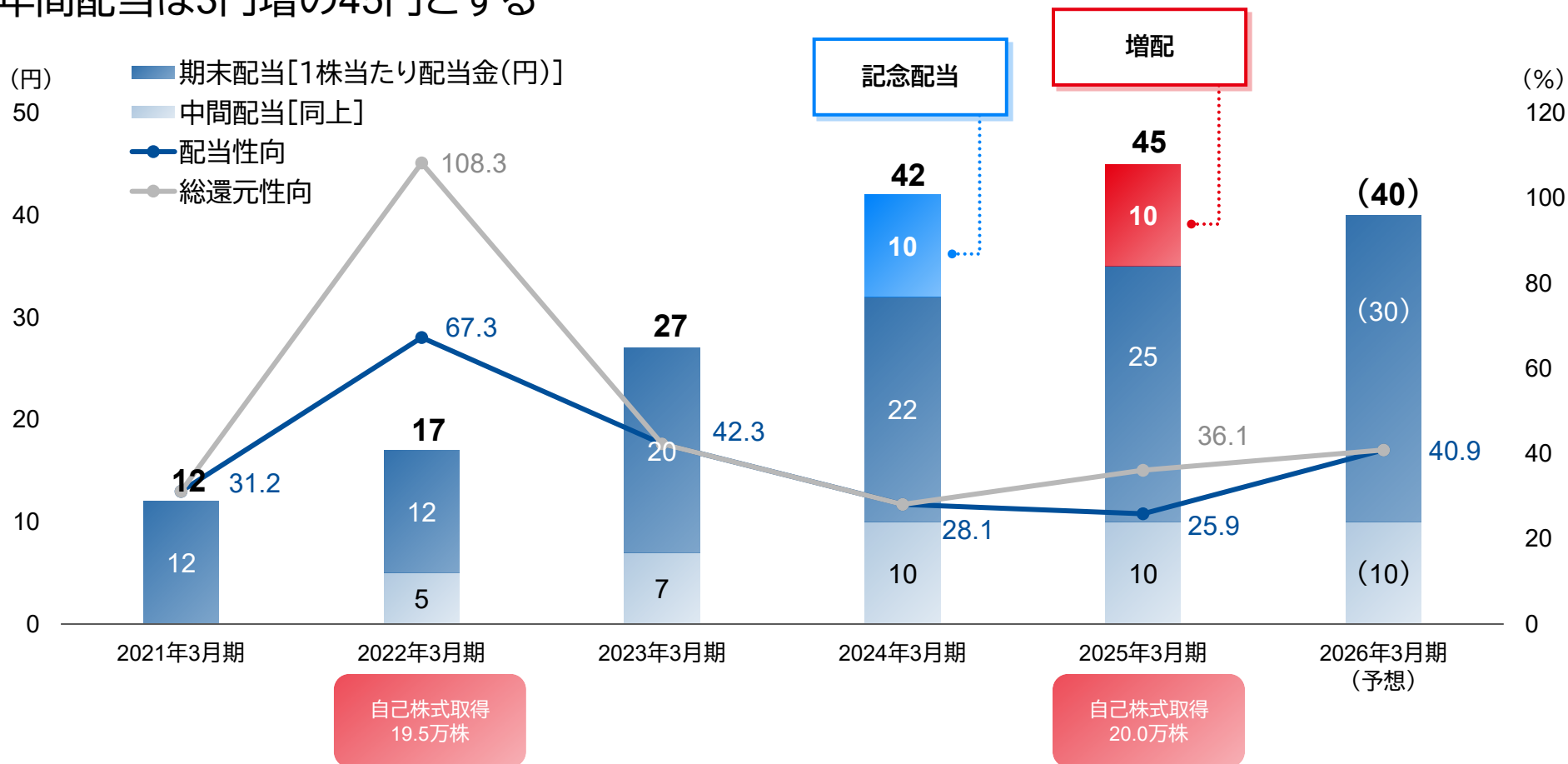


親会社株主に帰属する当期純利益



配当

2025年3月期については、中間配当は10円、期末配当は35円(10円増配を含む)とし、年間配当は3円増の45円とする



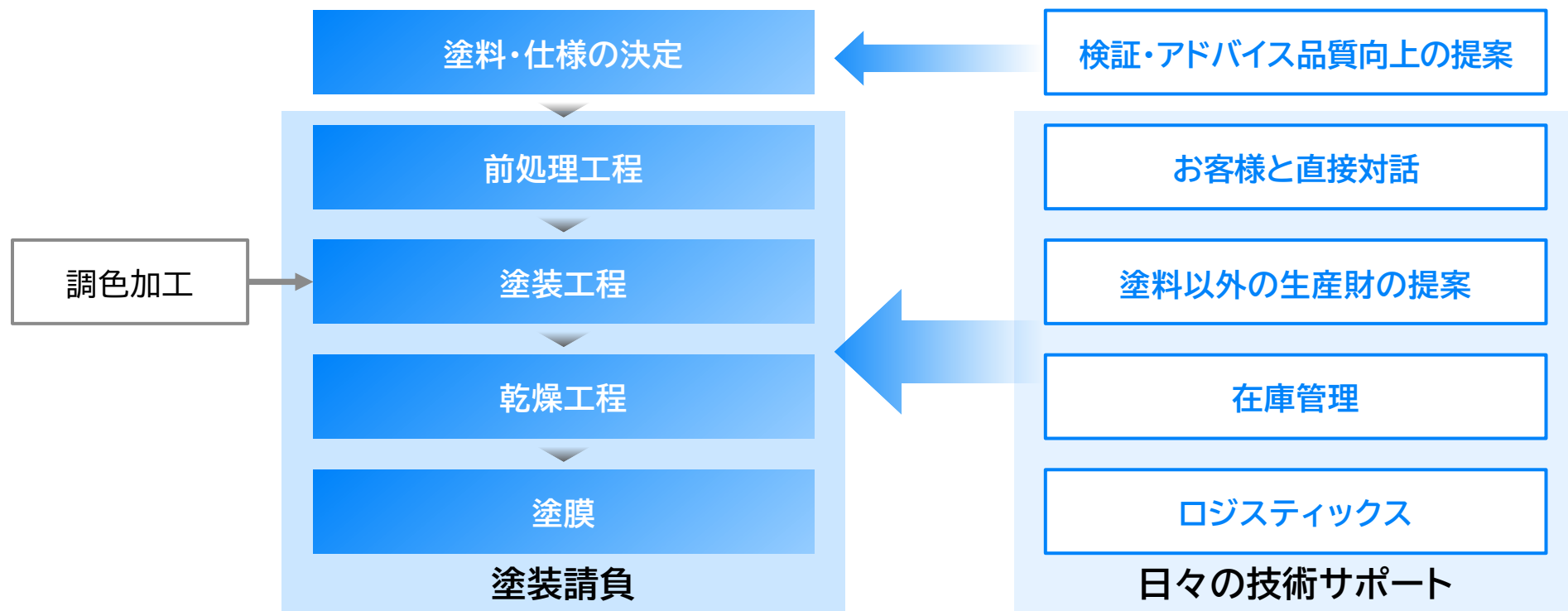
※2026年3月期予想は、2025年3月期の期末発行済み株式数（自己株式を除く）にて算出

Appendix

強み① 商社の枠を超えた事業展開

コーティング関連事業

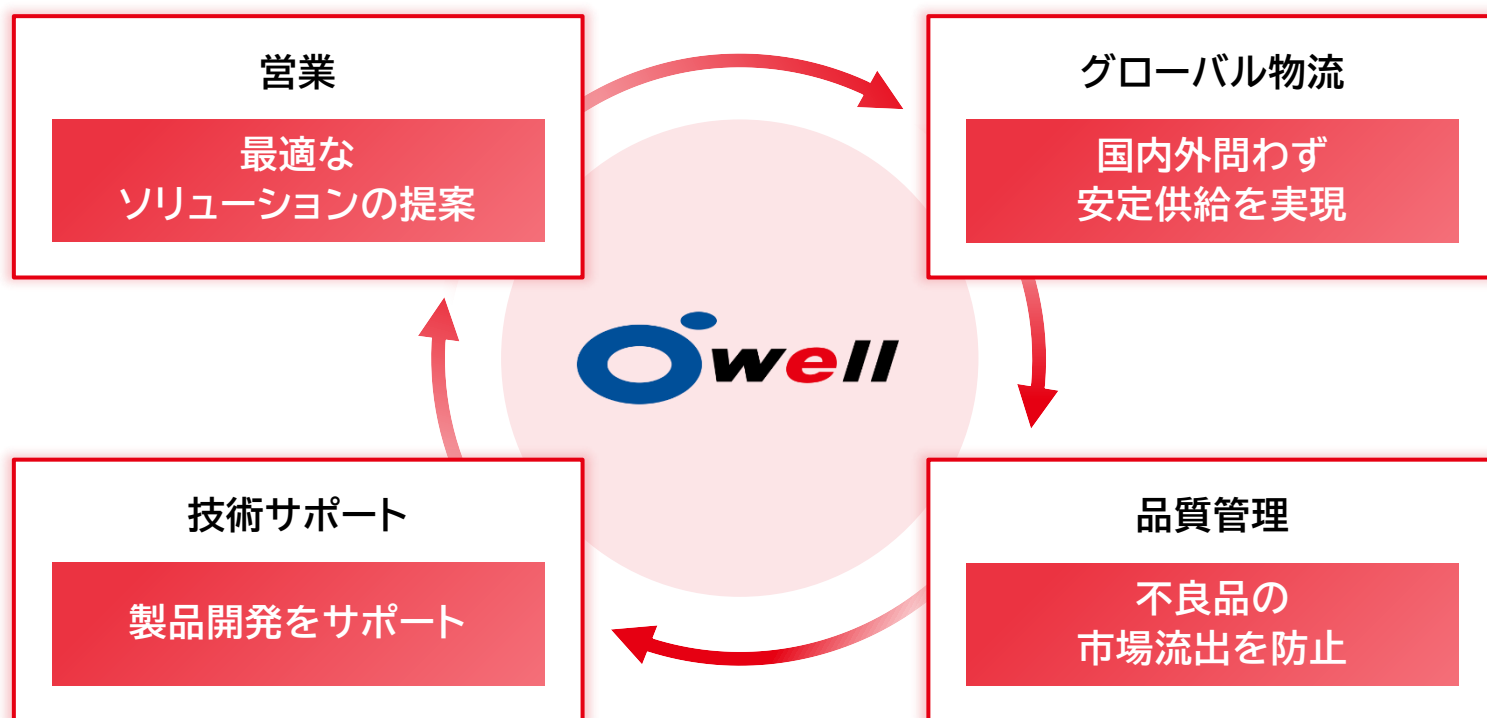
商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供



強み① 商社の枠を超えた事業展開

エレクトロニクス関連事業

商品の仕入れ・販売だけでなく、技術サポートや品質管理など、幅広い工程をカバーするワンストップソリューションを提供



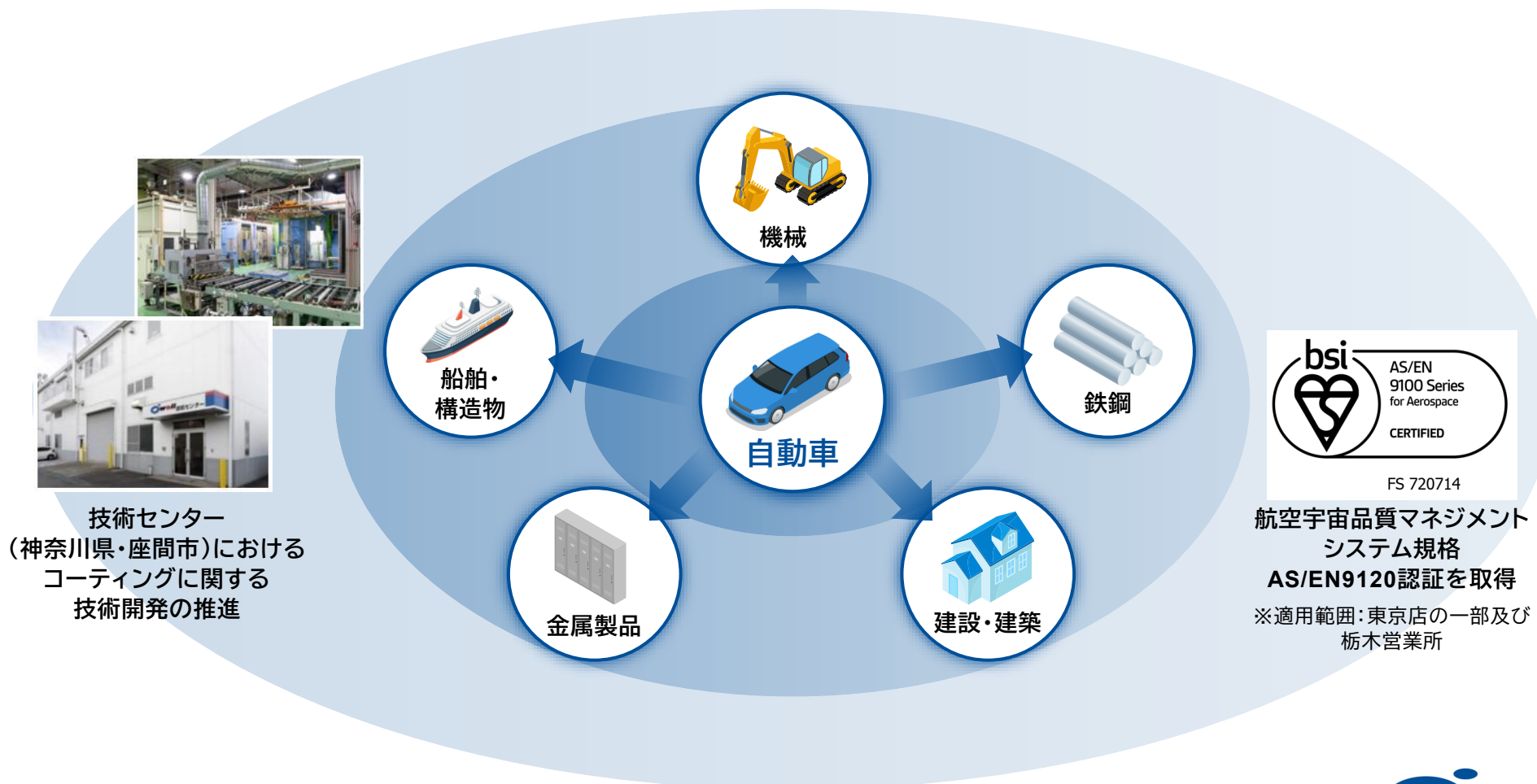
強み② 安定した事業基盤

独立系の商社として、特定のメーカーに依存せず幅広い仕入先と連携し、いかなる時も最も適したものを整え、期待に応えることで強固な顧客基盤を構築



強み③ 長年培ってきた課題解決力

厳しい水準が求められる自動車業界で培った塗膜形成技術を他業界でも展開。
さまざまな環境・条件においても安定した塗膜品質を提供

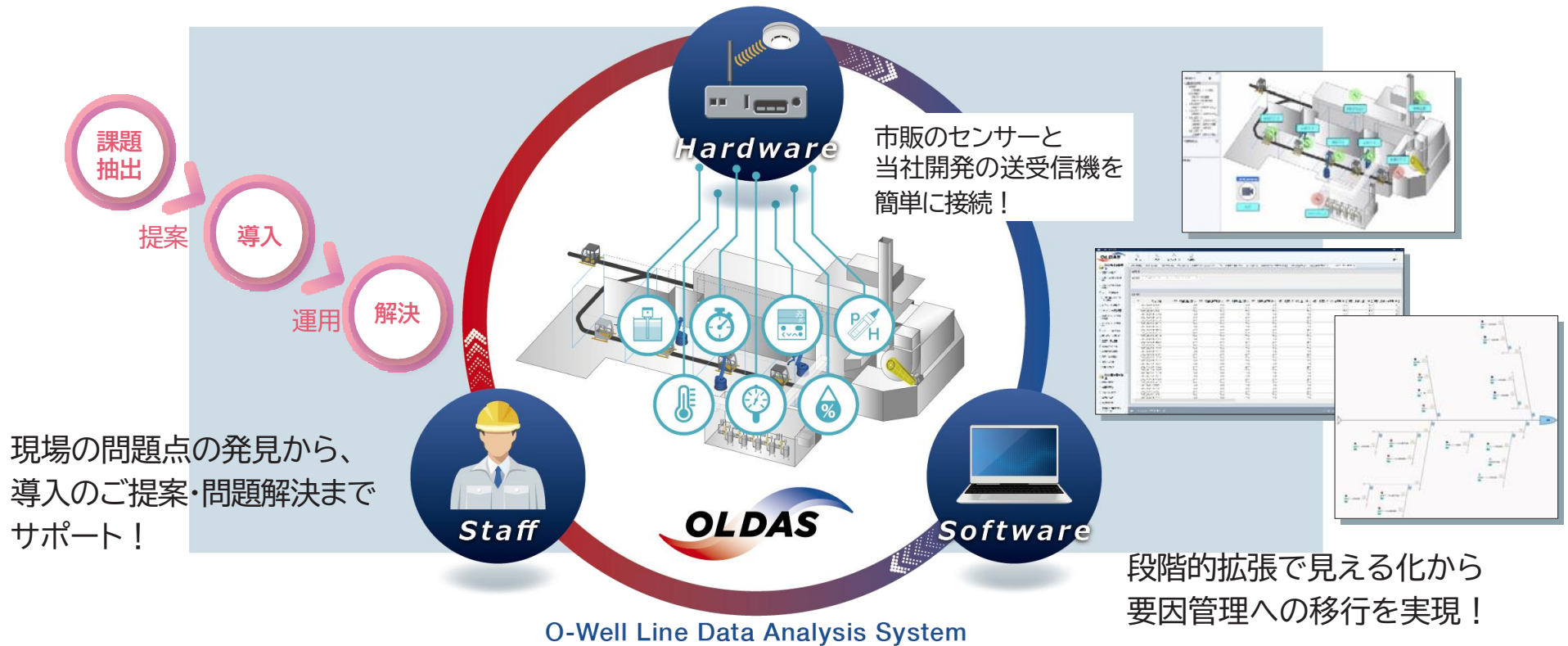


取り組み事例①

コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

OLDAS～塗装現場の高度化と省人化の実現～



OLDASは、技術伝承・生産性向上・省人化といったお客様の抱える課題について、Staff／Hardware／Softwareをワンストップで提供します

取り組み事例②

コーティング関連事業

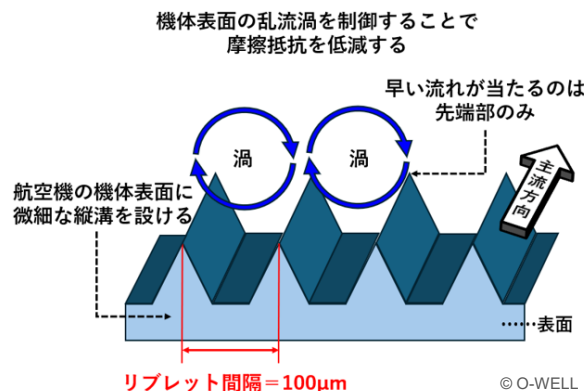
塗膜形成力を磨く

独自の塗膜形成技術によるCO2排出量削減への取り組み

- 世界で初めてボーイング787-9型機の機体胴体の大部分にリブレット形状を施工（2025年1月10日付開示）
2025年1月18日、リブレット形状を施した機体として世界で初めて国際線の就航を開始
- 「日本航空宇宙学会 技術賞」受賞を受賞（2025年4月10日付開示）
国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）、株式会社 JAL エンジニアリングとの共同受賞



リブレット施工作業風景



リブレット効果 イメージ図



「日本航空宇宙学会 技術賞」表彰状

当社独自の“塗膜形成技術”を活用し、他業界への用途開発も検討してまいります

取り組み事例③

コーティング関連事業

塗膜形成力を磨く

独自の塗膜形成技術により空飛ぶクルマの開発を支援

- 塗料・塗装の仕様～技術の確立を加速するため、SkyDrive社とサポーター契約を締結

(2024年3月1日付開示)

2025年4月に開幕した日本国際博覧会(大阪・関西万博)の会場内「空飛ぶクルマ ステーション」にて、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」のフルスケールモックを展示中



万博会場でのメディアデーでの飛行の様子



空飛ぶクルマ ステーション内のフルスケールモック展示の様子

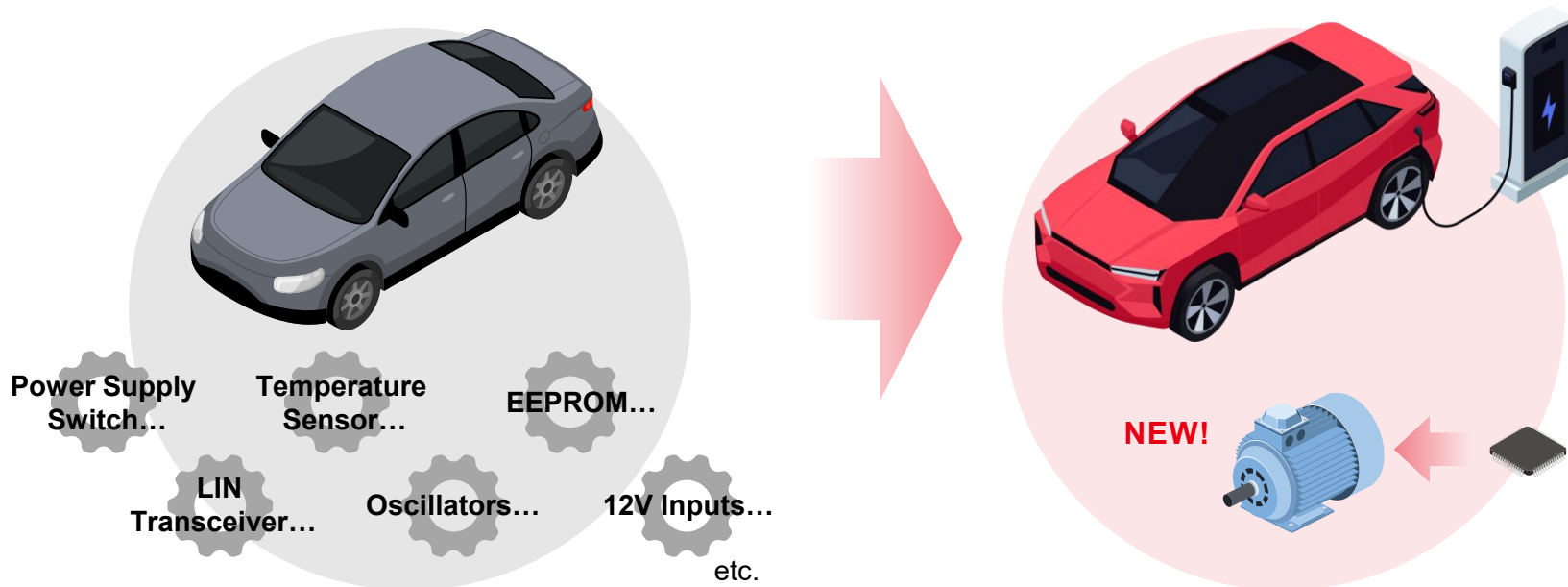
取り組み事例④

エレクトロニクス関連事業

センサービジネスを拡大する

—— 車載マーケットに向けたテーマの創出 ——

- 自動運転、電動化の領域で採用が広がるマイクロコントローラ テクノロジー
(モータに小さなICチップを組み込み、制御する技術)
- 周辺回路を内蔵し、小型化・軽量化を実現



取り組み事例⑤

人的資本経営に向けた取り組み等

- 人事制度改定への取り組みを進行中

社員の心身の健康増進

- 経済産業省 健康経営優良法人2025認定
- スポーツ庁 スポーツエールカンパニー2025認定
- ワークライフマネジメント実現のための制度の整備



カーボンニュートラル達成への取り組み

- 温室効果ガスの削減を目指し排出量の算定を実施
- 環境貢献商品の拡販



EMS 60096

免責事項及び将来見通しに関する注意事項

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、オーウエル株式会社(以下、当社という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済、社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本資料につきましては皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statement)を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新、修正を行う義務を負うものではありません。

お問い合わせ先

執行役員 総務部・品質保証部担当
秋谷 浩史



TEL 06-6473-0138

Ö*well*